

平成23年度 桜川市決算報告

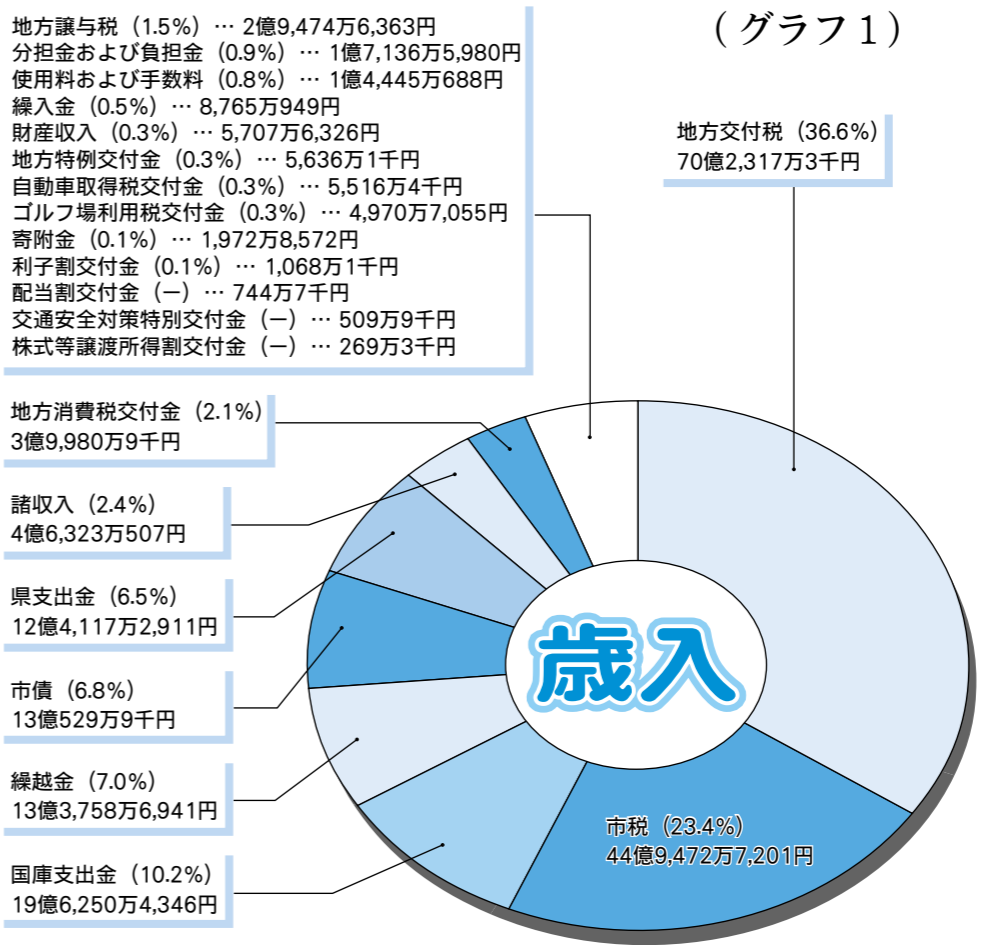
一般会計・ 歳入の内訳

191億8,967万
3,839円

歳入は、市の財源として
入ってくるお金です。その決
算額は191億8,967万
3,839円。グラフ1（下・
円グラフ）は、その内訳を表
したものです。

所得税・消費税などの国税
の一部を国から交付された地
方交付税が約37%を占めてい
ます。次いで、市民の皆様が納
めていただいた市民税などの
市税が約23%。続いて、子
ども手当負担金、生活支援や
公共施設改修など特定事業に
対する国から支出された国庫
支出金が約10%となっていま
す。以下、繰越金、市債、県支
出金、諸収入、地方消費税交
付金の順になっています。

(グラフ1)

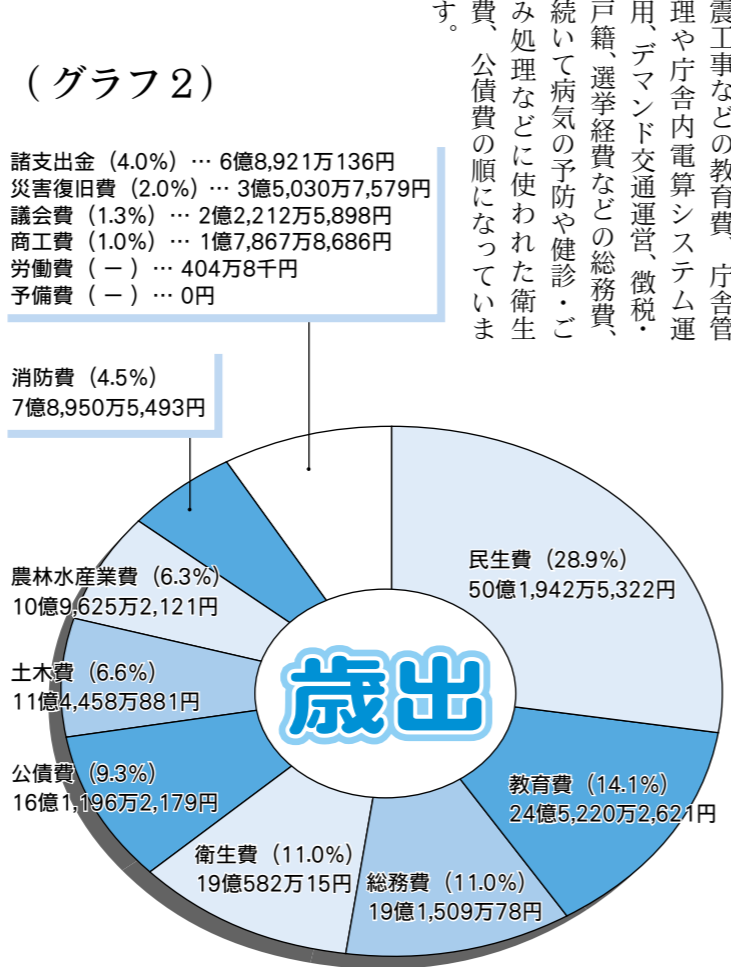


一般会計・ 歳出の内訳

173億7,920万
9,009円

歳出は、市民の皆様のため
に使われるお金です。その
決算額は173億7,920
万9,009円。グラフ2
（下・円グラフ）は、歳出を
目的別に表したものです。
子ども手当やお年寄り、身
体の不自由な方などのため使
われた民生費が最も多く、次
いで真壁伝承館建設事業や生
涯学習の振興、学校施設の耐

(グラフ2)

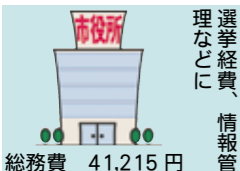
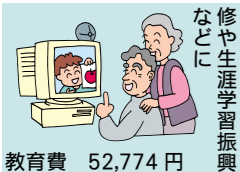
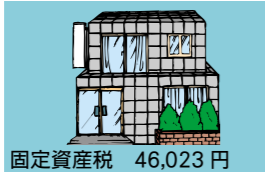
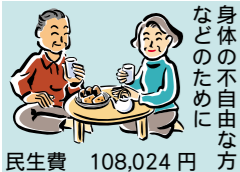


震工事などの教育費、庁舎管
理や庁舎内電算システム運
用、デマンド交通運営、徴税・
戸籍、選挙経費などの総務費、
続いて病気の予防や健診・こ
み処理などに使われた衛生
費、公債費の順になっていま
す。

市民一人あたりでは

使われたお金
374,020円

納めていただいた市税
96,732円



※一般会計歳入の市税をもとに、
平成24年3月末日現在の人口
46,466人で算出しました。



※一般会計歳出をもとに、平成24
年3月末日現在の人口46,466
人で算出しました。

水道事業会計決算

区分	収入	支出
収益的事業 水道料金による収入と、水を作 ったり家庭に送ったりするための維 持管理などを中心とした営業活動 の収支	9億3,231万3,099円	10億2,125万9,431円
資本的事業 古くなった水道施設の改良や、新 しい施設を造るために必要な資金 の収支	1億9,730万7,763円	4億3,593万9,034円

歳入・歳出総額

区分	歳入	歳出	
一般会計	191億8,967万3,839円	173億7,920万9,009円	
特別会計	国民健康保険	60億2,706万372円	56億0,514万320円
	農業集落排水事業	5億2,426万8,981円	4億9,793万1,976円
	公共下水道事業	7億8,685万5,381円	7億8,014万6,642円
	介護保険	34億0,539万3,471円	33億1,635万5,836円
	介護サービス事業	1,000万4,367円	778万9,614円
後期高齢者医療	3億2,347万2,995円	3億2,319万5,883円	
合計	302億6,672万9,406円	279億0,976万9,280円	

平成23年度の一般会計・特別会計および企業会計が、平成24年第3回桜川市議会定例会で承認されました。市政の中心、一般会計の歳入決算額が191億8,967万3,839円、歳出決算額が173億7,920万9,009円となりました。今月号で、その決算概要についてお知らせいたします。